

てきおう

No. 02

DECEMBER
2022

写真提供：広島県



第2号 第2回ひろしま気候変動適応セミナー開催

第2回ひろしま気候変動適応セミナー開催

セミナー開催のご報告

11月9日、皆様への情報提供の一環として、「第2回ひろしま気候変動適応セミナー」を開催いたしました。たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございます。

この度のセミナーでは、国立環境研究所気候変動適応センターの向井人史センター長をお招きし、気候変動の現状と適応について、ご講演いただきました。年平均気温の上昇、短時間強雨や大雨の増加、30℃以上の真夏日の増加などの観測結果と共に、将来予測される瀬戸内海の変化や広島県の農業、林業、水産業への影響についても、ご紹介いただきました。講演資料は、ホームページ内で公開しておりますので、ご覧ください

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou/seminar2.html>)。

また、広島県の農業、林業分野の事例について、広島県立総合技術研究所農業技術センター、林業技術センターにご紹介いただきました。

農業分野の現状と対策

農業分野では、気温上昇により高温になると、米の品質低下、トマトの着果不良、ブドウの着色不良などの発生が懸念されています。その対策として、農業技術センターでは、高温下でも醸造適性の高い酒米の育成やブドウ「安芸クイーン」の着色向上の研究が進められています。

林業分野の現状と対策

林業分野では、気候変動による高温により、植え替えした幼苗や春先に山へ植栽した苗木が枯損してしまうなどの影響がみられています。対策として、乾燥にも強く、年間を通じた植栽が可能な苗木として、近年、コンテナ苗の導入が進められています。また、林業技術センターが研究を進めている「コウヨウザン」は、気候変動に対応した特性が期待できます。



セミナー会場の様子



庄原コウヨウザン林

